

# 若還り

超高齢化社会に突入する，と言う。近い将来，所謂，高齢者という枠組みの中に，入ることになる団塊の世代は，いつも世の中に新しい風を吹き込んできた世代でもある。常に，生活の質の向上に目を向けてきた世代。定年後の生活を豊かにするための“教科書”が，書店に溢れかえる現状をみると，新しい高齢者の姿を期待せずにはいられない。彼らの力を最大限引き出せる環境さえ整えば，地域社会にとって最高に生産性のある存在となるに違いない。各個人の中で，そして地域社会の中で，若さが循環する，そんな環境づくりに，何が必要か，色んな立場から，提案していきたい。

## 1.個人の見場から

### ・健康管理を行う人を重用すべき

まずは，健康第一である。体力的な衰えは，人生の豊さを少なからず左右する。介護する人を増やすだけでなく，要介護者を増やさないための管理を行える人材を早急に増員したい。

### ・個人の資金運用を積極的に

定年を迎える世代は，教育費や住宅ローンにお金を使う現役世代に比べ，自分達で使えるお金と余暇時間を多くもっている。専門知識を持った人からのアドバイスを受け，

## 2.民間企業の立場から

### ・農地リフォーム

農家戸数の減少により，農道や用排水路の維持管理機能が低下し，農村そのものが弱体化している。その一方で，都会から農村への回帰を望む人は少なくない。そのニーズに対して，受け入れ先が整っていない状況である。金融，土地区画整理，コンサルタント，建設業者，そして自治体が一体となった支援グループを形成し，第2の人生の選択肢となるべき土地の再生に取り組みたい。出資元は，自治体の補助金及び，個人資金。

この世代の，高齢化社会への参入は，世の中にまた新しい風を吹き込んでくれるに違いない。